

ぼけをコントロールして 主題を明確にする



F値をコントロールすることで、撮りたい主題を際立たせることができる。人の目線は、ピントに合っているところに導かれやすい。これを利用すれば、主題にピントを合わせ、それ以外を大きくぼかして、主題を強調することが可能になる。下のF2で撮った写真は、絞りを開き被写界深度を浅くすることで、背景に埋もれ気味だったポストが浮き立ち、F11の写真と比較すると、しっかり存在感を持つようになった。



F2



F11

被写界深度は 焦点距離と絞りで変わる



絞りを調節してぼけの量を思った通りにコントロールできるようになると写真がより楽しくなってくる。被写界深度は主に使うレンズの焦点距離と絞り値、そしてピントを合わせる位置で変化する。よく使うレンズがあるのなら、絞りや撮影する距離を変えて、さまざまなシーンを撮影し、写真の仕上がりを見比べて、被写界深度(=ぼけ具合)がどれくらいかを体感しておこう。



85mm相当F0.95のレンズを開放にして撮影。絞りを大きく開放にすることができる大口径レンズで近距離で撮影すると被写界深度はほんの数ミリで、その前後は大きくぼけた写真になる。

ぼかすorくっきり写す、の 度合いを調節できる



ピントが合う範囲を「被写界深度」と言う。絞りを開いて(F値を小さく)背景や前景をぼかすとは、被写界深度を浅くしてピントが合う範囲を狭めること。また絞りを絞る(F値を大きく)ほど被写界深度は深く、くっきり写る。絞り優先モードでは、F値を調整してぼけ感を手軽に調節できる。



F2



F2.8



F5.6



F8



F11

絞りを開ける

絞る

ふんわり(ぼけり大)

くっきり(ぼけり小)